

KuickerKuicker

Manual



Ver1.0.3.3

Windows 10 / 11

Language 日本語 / 大阪弁 / 英語(English)

Copyright © NeoBlogKossy



あー
プロジェクトのソリューションを
起動しないと
ファイルはエクスプローラーを開いて...

あー
ToDoリストを記入するツールを
開かないと
ツールのショートカットは...

あー
電卓を開かないと
スタートメニューを押して...

基本的な使い方

KuickerKuickerは常時型(キーボードフック)ランチャーです
任意のフォルダーを素早く開くKuickerFolder(クィッカーフォルダー)機能
任意のソフト/データ/フォルダー/URLを素早く開くKuickerLauncher(クィッカーランチャー)機能
の2つの機能があります



***初回のみ KuickerKuicker.exe を実行して下さい(次回からは自動で起動します)**

***キーボードフック = 特定のキーに割り当てて起動します**



キーボードの「無変換」キーで表示します 押すたびに表示/非表示を切り替えます
(「無変換」キーが無い 英語等のキーボードは「右Ctrl」キーに初期割り当て)
(設定で起動キーは変更可能)



Folder機能
登録したフォルダーを開きます

Launcher機能
登録したコマンドを実行します
+
貼り付けたアドレスを開きます

**白色のフォルダーアイコンは
登録したフォルダーが並びます**

**朱色のPCアイコンは PCに接続されている
ドライブが自動で並びます**



Folder(フォルダー)機能

**マウスでクリックするか カーソルで選んでエンターで該当フォルダーをエクスプローラーで開きます
よく使うフォルダーを登録すれば素早く起動可能です**



登録しているコマンドの
オートコンプリー候補が表示されます

コマンドを入力します

Launcher(ランチャー)機能

登録しているコマンドを打ち込むと 紐づいた機能を実行します

よく使うソフト/データ/フォルダー/URLを登録すると 素早く起動可能です

データの場合は関連付けられたソフトで開きます



Launcher機能

**コマンドを全て打って「Enter」キーを押すか
オートコンプリート候補表示中に「Tab」キーを押すか
オートコンプリート候補から選択してから「Enter」キーを押すと実行します
上の例の場合 Microsoft Edge（ブラウザー）が開きます
デフォルトでコマンドが複数個登録されています**

***これ余談なんですけど コマンドの最後に ¥ を追加すると コマンドのフルパスフォルダーが開きます
edge¥**

でエンターを押すと

C:\Program Files (x86)\Microsoft\Edge\Application\msedge.exe

があるフォルダーをエクスプローラーで開き 実体(exe等)にカーソルを合わせます

実体のある場所に移動したい場合に便利です



Launcher機能

入力補完(オートコンプリート)があります

該当する文字が薄い灰色で表示されるので

それで確定したい場合は 「Tab」 キーを押すのみで実行します(「Enter」 キー不要)



Launcher / Folder の使用履歴をまとめた Log機能があります
入力枠に何も記載していない状態で カーソルキーの上下で表示します
(青文字がLauncherのLog 赤文字がFolderのLog 緑文字がURLを貼ったLog)
選ぶと素早く再利用出来ます
(直近で使った物は一番上に追加されます 不要なLogは「Delete」キーで削除可能)

何も入力していない状態で マウスでここをクリックしてもLogを表示します

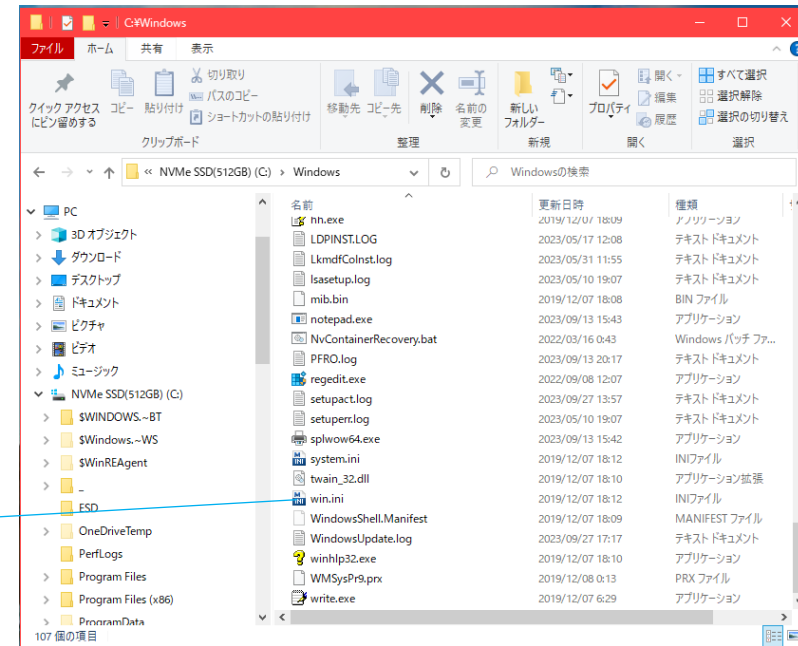


**Launcherコマンドの例外として この入力枠にフォルダ名/URLをペーストして「Enter」キーを押すと
その場所をエクスプローラー/規定のブラウザで開きます**

**チャットなどからフォルダ名/URLをコピーした場合
起動キーで立ち上げ → 「Ctrl」 + 「v」 でペースト → 「Enter」 キー
とキーボード操作のみで自動判別して
その場所を開くことが出来るので便利です**

**フォルダ名をペーストした状態で 右の [...] を押すと
Folder機能にその場所を登録する事が出来ます
([...] ボタンの説明は後述)**





**オマケ機能として ファイルやフォルダーをドラッグ&ドロップすると
フルパスを取得して フォルダ名/ファイル名で改行し Windowsのクリップボードにコピーします
(ドラッグ&ドロップした時点でコピーされているので 直ぐにペーストして使えます)**

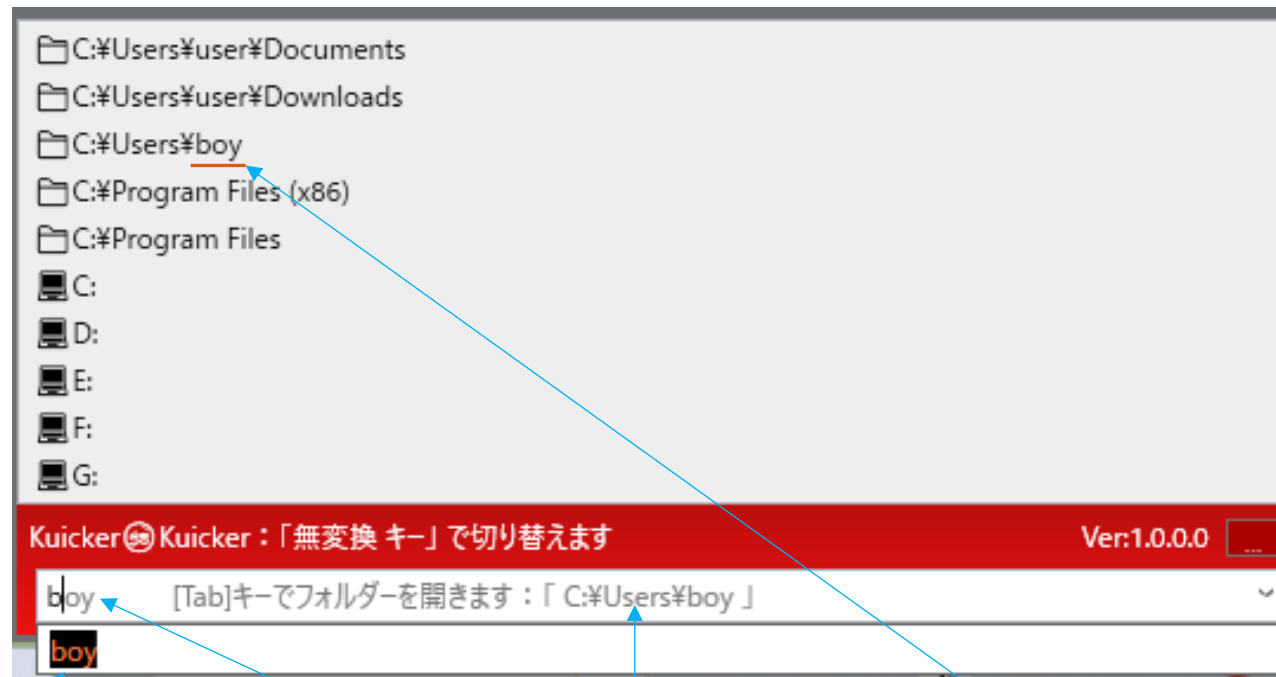
例：C:\Windows\win.ini



**C:\Windows\
win.ini
の文字列をコピー**

チャットなどにフルパスを貼り付ける際に便利です

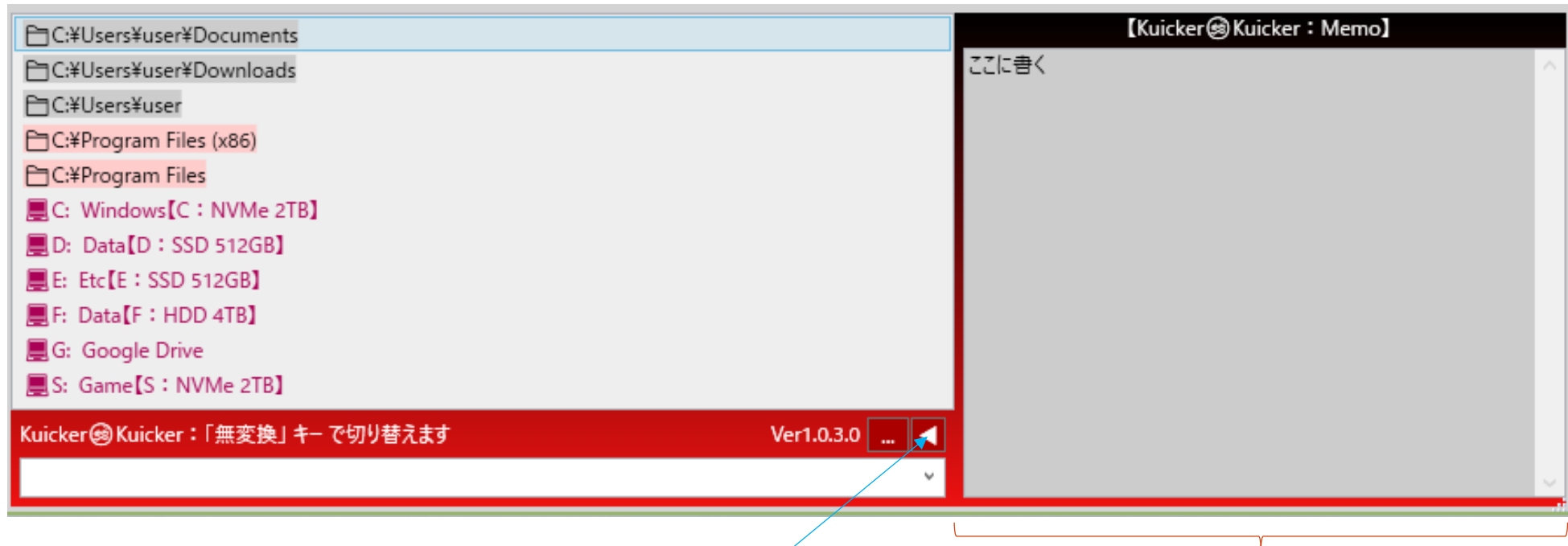
***ただ エクスプローラーをクリックした瞬間に自身が非アクティブになってしまうので ドラッグしながら起動キーで再度アクティブにして下さい
本当は右クリックメニューに追加する予定だったけど レジストリーを弄る + 管理者権限が要る + 起動時に確認が出る となり断念無念**



ここに表示してます

**オマケ機能その2として Folder機能に登録しているフォルダー名の一番右側(最下位)の名前を入力すると
オートコンプリート(黒背景のオレンジ色の文字)と 入力候補に表示されます
「Tab」キーを押すとフォルダーが開きます
Launcherコマンドと同じ使い方でフォルダー機能も使えます**

*** 上記例：c:\Users\boy の場合 boy を入力候補として扱います**



メモ欄が開く

右下をドラッグすると、
横幅が変更されます

オマケ機能その3として、この三角形のボタンを押すと、簡易的なメモ機能があります。
Windowsの付箋(Sticky Notes)やメモ帳を使うまでも無いような、簡単なメモを取りたい時にオススメです。
メモ内容は保存します。
開いている時は、▷
閉いている時は、◁
ボタンに変わります。

設定編

インストーラー/アンインストーラー不要

Windowsレジストリー未使用

exeと同じフォルダーにセーブ内容を保存するので そのフォルダーのみで全て完結します

ネットワークは一切使っていません(証拠に起動時にセキュリティ警告も出ません)

起動時にWindows StartUpフォルダーにショートカットを作成します(後述)



**何もコマンドを記載しないで「Enter」キーを押すか
右側の [...] ボタンをクリックすると設定画面が開きます**

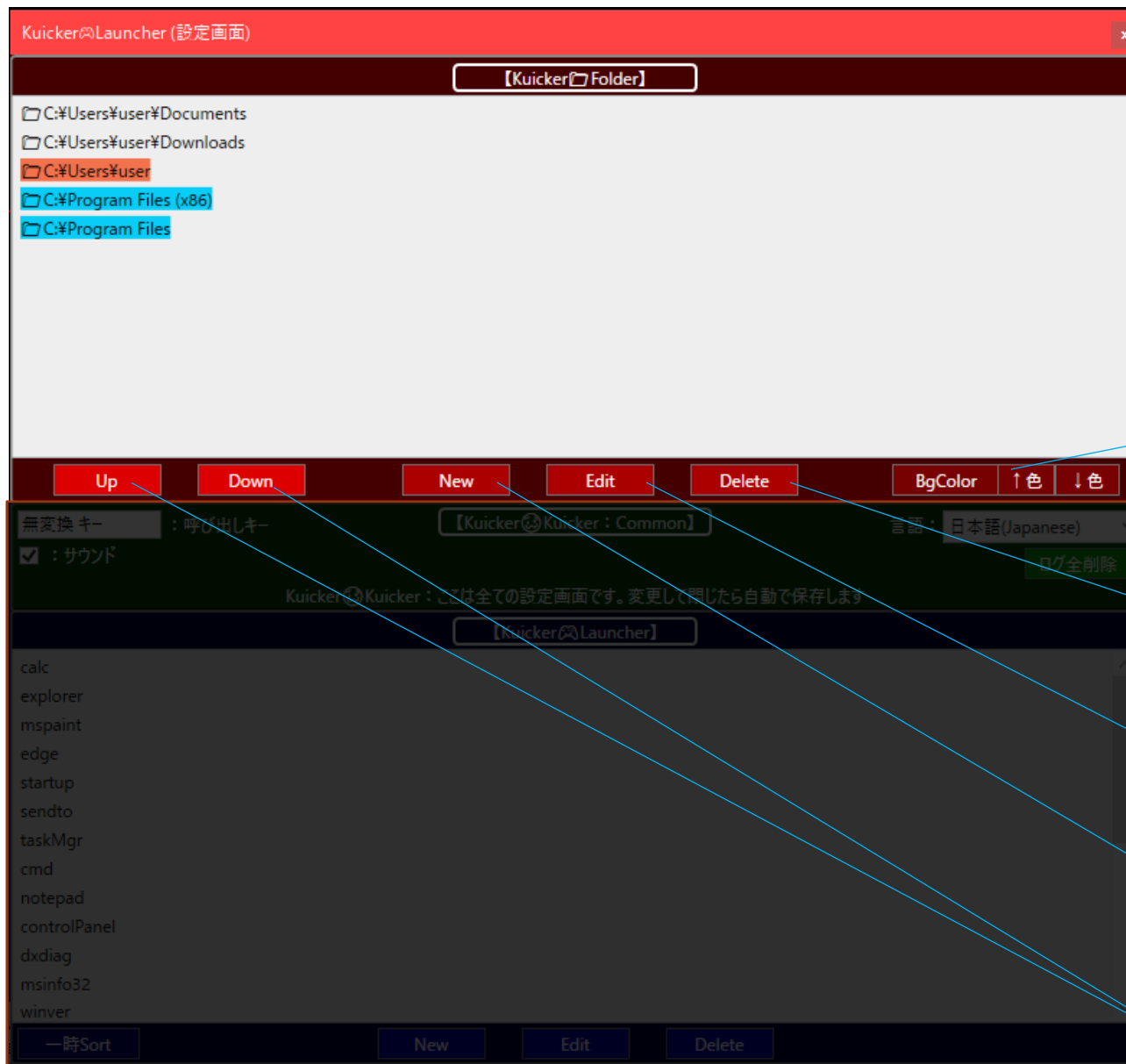


Folder機能の設定エリアです

共通部分の設定エリアです

Launcher機能の設定エリアです

**設定画面です 1画面に3種類を集約しています それぞれの設定エリアで色分けしてます
変更後に閉じると自動保存します**



登録済みフォルダーリストです
(フォルダーをここにドラッグ&ドロップすると
下記の [New] ボタン を押さなくても
新規で追加が出来ます)

[BgColor] ボタン
文字列の背景色をダイアログから設定します
[↑色] は1つ上の色をコピー
[↓色] は1つ下の色をコピー

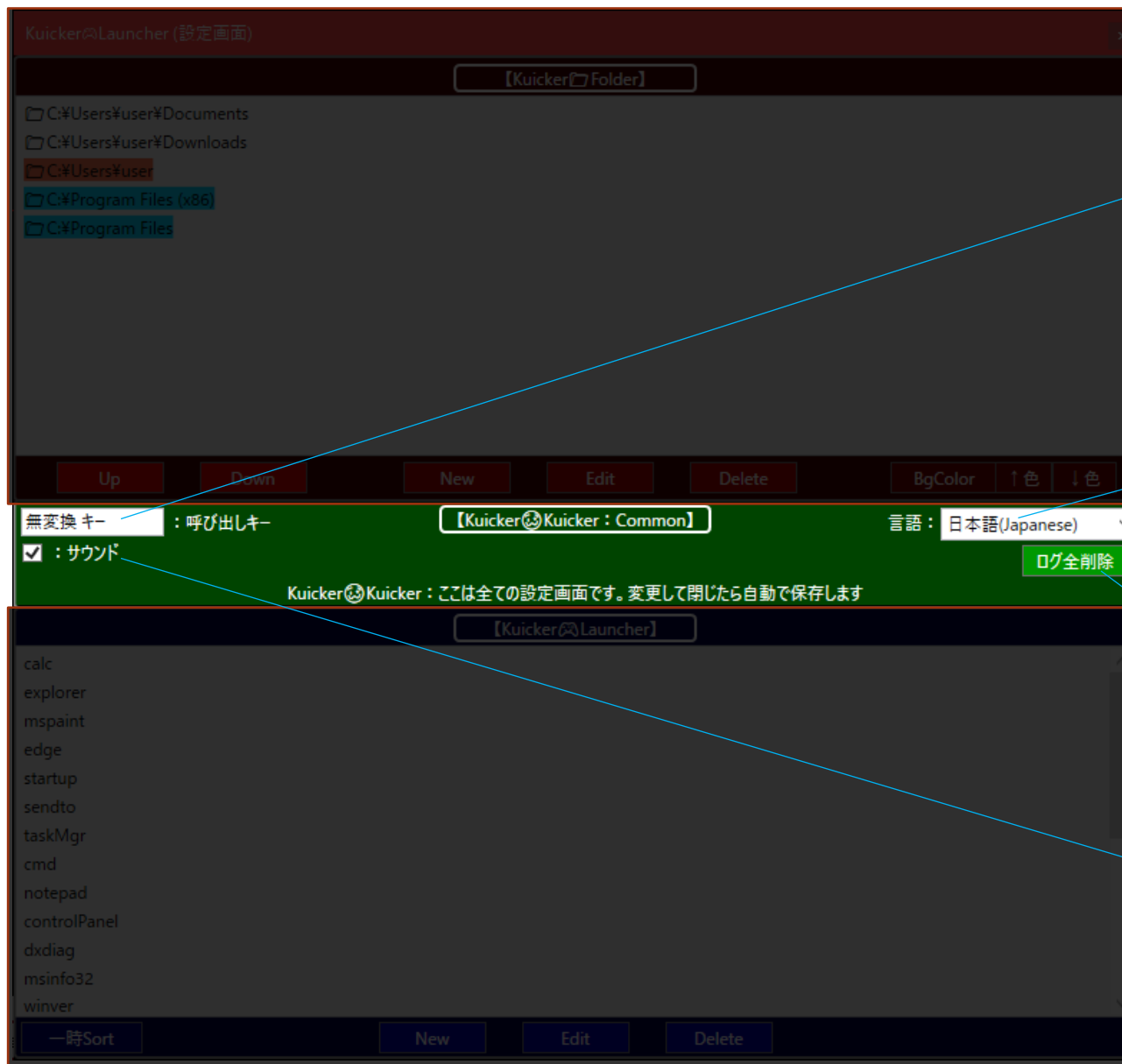
[Delete] ボタン
フォルダーリストの選択要素を
1つ削除します

[Edit] ボタン
登録済みのフォルダーを変更します

[New] ボタン
新規にフォルダーを登録します

[Up] [Down] ボタン
フォルダーリストの選択要素を
上下に移動し並び替えます

Folder設定エリア(上部)の説明です [New] 以外はリストから選択した後上記ボタンを押して下さい



呼び出しキー
表示/非表示したいキーを入力します
一般的によく使うキー
(アルファベットや数字等)
は使えません

言語
表示言語を切り替えます

ログデータを全て削除します

サウンド
効果音をON/OFFします

共通設定エリア(中央部)の説明です



【一時Sort】 or 【使用順に戻す】 ボタン
一時的にアルファベット順に並び替えます

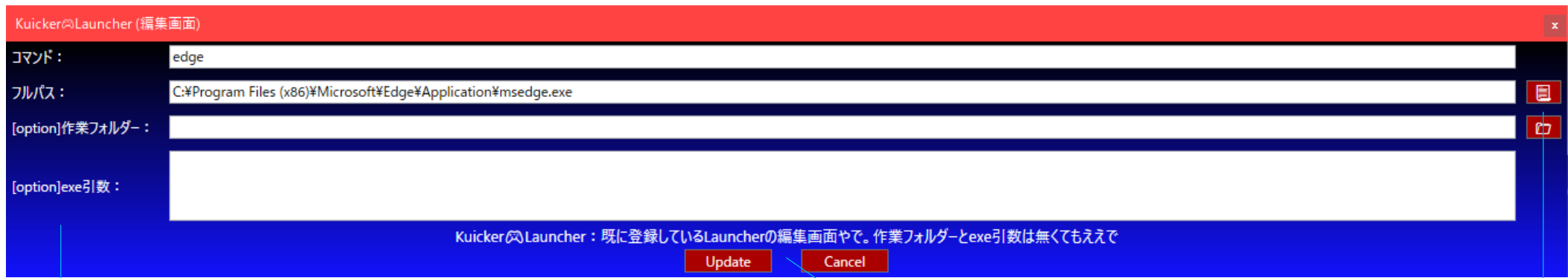
【New】 ボタン
新規にコマンドを登録します
* 次ページで説明

【Edit】 ボタン
コマンドリストの選択要素を編集します
* 次ページで説明

【Delete】 ボタン
コマンドリストの選択要素を1つ削除します

登録済みコマンドリストです
(ファイルやフォルダをここにドラッグ&ドロップすると下記の【New】 ボタン を押さなくても新規で追加が出来ます)

Launcher設定エリア(下部)の説明です 変更して閉じるだけで設定を自動保存します



コマンド：任意のコマンド文字を入力します

フルパス：コマンドで開きたい完全なフルパスを記載します

～.exeならそれを実行

～.txt等のファイルなら関連付けられているソフトで起動します

例えばよく使う～.slnなら VisualStudioが起動します

フォルダーなら エクスプローラーで開きます

このウィンドウ自体にファイルをドラッグ&ドロップすると

コマンド+フルパスを自動入力します

またフルパスのみ ワイルドカード指定(半角 ? のみ)が出来ます

該当が複数ある場合は 更新日時が一番新しいファイルを開きます

フルパスの例：

c:\財務データ_20??_??_??\xlsx

の場合 c:\直下にある 財務データ_2024.01.01.xlsx を開きます

[option]作業フォルダー：通常はフルパスのフォルダー位置で作業をする場合は不要
別フォルダーで作業したい場合のみ指定して下さい

[option]exe引数：exeに引数を与えたい場合のみ指定して下さい

例えばテキストエディタで複数ファイルを一括で開きたい場合は ファイル名を複数列挙して下さい
(その為広めにしてます)

ファイル/フォルダーダイアログを開きます

[Update] or [New] ボタン
編集/追加したコマンドを更新し
開じます

[Cancel] ボタン
変更せずに開じます

細かいお話

- 負荷は軽量のはずです CPU 3.6GHzでの計測で アクティブ時は0.1% 非アクティブ時はほぼ0% の負荷です
- exeと同じ場所に セーブファイルが3つ作成されます テキストなので自由に編集可能です
文字コードはUTF-8で開いて下さい
- 素早く実行 キーボードのみでの操作の場合 コマンドを数文字入力し 入力補完が出たら「Tab」キーを押して実行するか
オートコンプリート候補が出たら 上下キーで選択して「Enter」キーを押すと実行出来ます
- 初回起動時に WindowsのStartUpフォルダーにショートカットを作成します
削除したい場合は exeと同じフォルダーにある deleteStartUp.bat を実行するか
Launcherコマンドから startUp でフォルダーが開くので手動でショートカットを削除して下さい
- Folder機能でマウスを左クリックしてフォルダー名を選ぶと
エクスプローラーで既に開いているアドレスの場合はそれを最前面で表示します
(エクスプローラーから情報が取得できた時のみ 出来ない事もあります)
右クリックすると 既に開いているかどうかに関わらず 必ず新規でエクスプローラーを開きます
- 呼び出しキーが無い または呼び出しキーがどれか解らなくなった時は
タスクバーのアイコンを右クリックし 「設定を開く」 から設定画面を起動出来るので「呼び出しキー」を再設定して下さい
- ファイルやフォルダーをドラッグ・アンド・ドロップ出来る箇所は、エクスプローラーをクリックした瞬間に
自身が非アクティブになってしまうので クリックしながら起動キーで再度アクティブにして下さい
- Microsoft Store アプリをLauncherに登録したい場合は 実体が隠されているので直接は出来ません
ほんとお手数ですが スタートメニューの該当アプリをドラッグ&ドロップしてどこかにショートカットを作り
それを登録して下さい ダイアログからは直接指定が出来ない(エラーになる)ので
Launcherの設定ウィンドウに 直接ドラッグ&ドロップするとフルパスの箇所に表示されます
*(~.lnk)ファイル

最初から登録されているLauncherのコマンド群
自由に追加/削除が出来ます (大文字小文字は無視 下記コマンドの **or** はどちらかです)

コマンド	機能
calc	電卓を開きます
explorer	エクスプローラーを開きます
edge	Microsoft Edge を開きます
startup	Windowsのスタートアップフォルダーを開きます
sendto	WindowsのSendTo(右クリックから送る)フォルダーを開きます
taskMgr	タスクマネージャーを開きます
cmd	コマンドプロンプトを開きます
notepad	ノートパッドを開きます
controlPanel	コントロールパネルを開きます
msinfo32	Windowsのシステム情報を開きます
winver	Windowsのバージョン情報を開きます
dxdiag	DirectX診断ツールを開きます
windowsSettings	Windowsのシステム画面を開きます
windowsSettingsAbout	Windowsの情報画面を開きます
windowsUpdate	WindowsUpdateの画面を開きます
windowsAppsFolder	WindowsStoreアプリが一覧出来るフォルダーを開きます
mspaint	ペイントツールを開きます
user	Windowsのユーザーフォルダーを開きます
doc	Windowsのドキュメントフォルダーを開きます
dl	Windowsのダウンロードフォルダーを開きます
copilot(web)	Copilot(web版)をブラウザで開きます
help or manual or ?	このPDFが開きます
kk or KuickerKuickerInstallFolder	KuickerKuickerのインストールフォルダーを開きます

開發環境

**C#
.NET Framework 4.8.0
WPF**

免責事項

**KuickerKuickerはインストールフォルダー以外は操作していません
(WindowsのStartUpへのショートカットの作成を除く)
ネットやレジストリーは一切未使用です**

**他に害を及ぼす要素は無いと思いますが
使用によって生じたいかなる直接的 間接的 偶発的 特別 懲罰的 または結果的損害
(データの損失 利益の損失 業務の中断を含むがこれに限定されない)
について 著作権者は一切の責任を負いません**

**デバッグは最低限しか行っていないので 想定外の操作をするとバグが発生する可能性があります
重篤なバグ報告は 下記の X (Twitter) までお願いします**

<https://twitter.com/NeoBlogKossy>

更新情報

<https://neoblogkossy.blogspot.com>

配布URL (アンチウイルスにて検査済み)

最新版 Free Download

ライセンス

KuickerKuicker はフリーウェアです
どなたでもご自由にお使い下さい！ 使用用途は制限しておりません

KuickerKuickerの著作権は NeoBlogKossy にあります(下記の2つのDLL以外)
Copyright © NeoBlogKossy

再配布・逆コンパイル・リバースエンジニアリング は禁止します

インストールフォルダーにある2つのDLL
・ **Microsoft.WindowsAPICodePack.dll**
・ **Microsoft.WindowsAPICodePack.Shell.dll**
はWPFでファイル・フォルダを選択するダイアログを使用する為に使っているAPI群です
DLLのライセンスについてはこちらを参照して下さい

<https://github.com/contre/Windows-API-Code-Pack-1.1>

バージョン履歴

Ver1.0.3.3 : log表示の高速化、不具合修正

Ver1.0.3.1 : ▷ ボタンを押すと、メモ機能を追加

**アクティブになったタイミングで、PCに接続されているドライブを更新(USBストレージ対応)
PCに接続されているドライブの、ボリュームラベル名を表示**

**Ver1.0.2.0 : 軽微な不具合修正(ログウィンドウが出た瞬間に上下キー連打で停止するバグの修正)
初期コマンド「windowsAppsFolder」追加**

Ver1.0.1.0 : 軽微な不具合修正(稀に相対アドレス→絶対アドレス変換不具合の修正)